

## 項目別の基本構想(素案)へのタウンコメント及び対応一覧

四国中央市市民文化ホール建設基本構想策定委員会

### 項目別集計

項目	件数
是非	2
必要性	8
素案作成	15
場所	9
施設	31
運営	6
財源	2
その他	17
計	90

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
1	是非	・住民投票をすべき。	市民文化ホール(仮称)の建設については総合計画の中で明記されており、基本構想(案)はそれを受けて策定されたものです。建設に関する住民投票をするべきかどうかについて、本策定委員会がお答えする立場にはありません。	考え方
2	是非	・建設ありきより、是非を問うのが先決ではないか。		考え方
3	必要性	他市の施設からみて、まちの豊かさということでの(文化的、市民交流、バリアフリー)充実性のためにも必要である。	頂戴したご意見と同じような考えを持っています。	記載済(同意)
4	必要性	四国の真ん中の立地を生かし、投資を。		記載済(同意)
5	必要性	このまちが四国の中央として神戸のような中国も視野に入れた拠点にしたい。新ホールはそのための第1歩となってもらいたい。		記載済(同意)
6	必要性	学校の耐震工事、学校統廃合を控えており、無理に建設する必要はない。優先順位を間違えている。	本策定委員会がお答えすることはできません。	考え方

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
7	必要性	合併特例債を使うならば、学校給食の方式を一本化するの が先ではないか。	本策定委員会がお答えすることはできません。	考え方
8	必要性	市民文化ホールは建設しなくていい。	ユーホールは中ホールとして一定の評価を得ていますが、10万市民の芸術文化への多様なニーズを満足させることは不十分と考えています。また、人材育成などの観点からも、ユーホールだけでは不十分で、適切な規模の施設が必要と考えています。なお、両会館を改修することは、市民への負担の観点から最善の選択肢とは考えられません。	記載済 (反対)
9	必要性	改修か、土居地区のユーホールだけで十分。		記載済 (反対)
10	必要性	土居町にあるものを最大限活用すればよい。節約を望む。		記載済 (反対)
11	素案作成	紙漉きに必要な「水」「親水」もサブテーマにしてみてもどうか。銅山川、ダムを通して、自然の恩恵を受けて生活する市民の思いを表現してほしい。	紙産業を支える意味で「水」は大切です。コンセプトでも、「水や緑に恵まれ…」と記載していますが、「紙」を考えると、資源としての「水」の大切さも含まれていると考えています。	記載済 (同意)
12	素案作成	音楽や芸術等の文化と製紙産業を融合させる具体策と効果は？	物理的な融合ではなく、観念的な意味で、文化と産業の融合を目指しています。紙のまちに相応しい個性的な文化施設にしたいとの考えです。	考え方

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
13	素案作成	公害と文化を融合させる必要があるか？	キーワードの説明文の中に記載していますが、「工場のまち」という負のイメージを逆転させる発想として「産業と文化の融合」という表現をしています。	考え方
14	素案作成	市民文化ホールに製紙工場を誘致するのか？または、工場地帯に市民文化ホールを建設するのか？	実際の建設場所は本策定委員会が決めることではありません。コンセプトを作成する中で、文化と産業の融合をイメージしています。ただし、誤解を与えると思われる箇所は修正します。 基本構想(案)P15中段辺り 「あえて製紙工場を市民文化ホール建設地の一部に誘致することで、」→「市民文化ホールに紙のイメージを反映させることで、」に修正。	修正
15	素案作成	「バッハホール」などはどのような部分が参考になったのか？	ホール建設の流れの中で、代表的な施設として記載しています。特に具体的な参考施設にしているわけではありません。	考え方
16	素案作成	他市からの入込客と経済効果についての考察は？	基本構想では、ホール建設の意義と方向性を示すことが主目的となります。他市からの入込客と経済効果について、具体的な考察はしていませんが、一般論としては、入込客が増えれば、経済効果は生ずるものと考えます。	考え方
17	素案作成	将来性については商業事業者へのヒアリング調査等の結果は…	基本構想では、ホール建設の意義と方向性を示すことが主目的となりますので、具体的なヒアリング調査等はありません。	考え方

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
18	素案作成	これまで以上に、広く市民が文化に親しむ事が出来るハード面の工夫の検討がなされたか？	このような考え方は大切と判断し、基本構想(案)の中では賑わいの創出等に関して記載しています。	記載済(説明)
19	素案作成	文化的必要性の掘り下げが不十分なように思えるが？	策定委員全員の考え方として、文化や芸術に触れることの大切さは一致しています。基本構想(案)の中でも記述しています。	記載済(説明)
20	素案作成	運営計画の立案、施設計画、鮮明な基本構想・計画とする必要はないのか？	基本構想では、ホールの意義と方向性を示すことが主目的となるので、運営の部分も含めて、今後引き続き行われる、計画・設計の中で検討することになると考えています。	考え方
21	素案作成	四国のコンベンション機能は1～2箇所で充分	本策定委員会としては、SWOT分析を踏まえ、四国中央市の所在する地理的特性を活かして、各県庁所在地に続く第5の交流拠点を目指すことが大切と考えています。コンベンションの種別、目的は一つだけではないと考えます。	考え方
22	素案作成	市民文化と観光は別物では？	SWOT分析における、一般的な一つのまちづくりの方向性を記述しています。文化に触れるツアーによる流入人口の増加や賑わい創出による新しい観光提供を期待しています。	考え方
23	素案作成	既存の複合施設に対抗出来るか？具体性を欠いた希望的観測では…	四国中央市は四国の交流拠点を目指しています。今回のSWOT分析などからも、四国中央市の強みとして、四国の中央に位置するということが挙げられていますので、悲観的に捉えるのではなく、地の利を活かし、その実現に向けて取り組むことは大切と考えています。	考え方

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
24	素案作成	立地条件を度外視した構想という事なのか？	建設場所に関しては、コンセプトに沿って、まちづくりを考える上で、エリア設定をしましたが、建設場所の決定は本策定委員会の所掌外のことであり、建設場所の決定を制限するものではありません。基本構想(案)では、特に将来に向けての立地条件を重視しました。	考え方
25	素案作成	用地候補地は既に『ありき』と理解すべきか？		考え方

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
26	場所	現三島市民会館周辺	<p>具体的な建設場所の選定に関しては、本来、本策定委員会の所掌するところではありませんが、コンセプトに沿ったまちづくりを考える上で、立地条件やエリアの設定が必要になりました。そこで、基本構想(案)では提案という形で、コンセプトの実現上望ましいと思われるエリアを記載するに止めています。なお、最終的な建設場所の決定は市が行うこととなります。</p> <p>今回の意見の多くは、地元として、今の施設がなくなることへの無念や不安の表れと思われます。そこで、この不安を解消するため、策定委員会として、市に提案する形で、基本構想(案)のP52の「第3節 既存ストックの活用」の箇所に、西部地域には中ホールとしての土居ユーホール、そして、東部地域には、川之江・三島両会館を1つに統合する形で、大・小ホール機能を有する新しい市民文化ホールを1つ建設する場合、現会館跡地の整備について検討を求めるといった意見を追加したいと考えています。跡地を利用した、最適な施設整備を実施することで、新たな賑わいの創出や行政機能の再整備などが行われるということを市民に知らせることが必要と考えます。</p> <p>また、建設場所の選定に関する策定委員会としての役割について、本策定委員会としての考え方を記載します。(同P33)</p>	追記
27	場所	三島川之江IC周辺		追記
28	場所	土居IC周辺		追記
29	場所	新宮地区		追記
30	場所	松柏グラウンド周辺		追記
31	場所	西部地域にはユーホールがあるが、東の端から出向くには大変。建替えか大規模改修が必要ならば市東部地域にも必要と考える。		追記
32	場所	建設地を高速道路IC付近に設定する必要はない		追記



件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
33	場所	他府県からの利用者は市内の奥深い所まで誘導する方がまちづくりには有効では…	このような考え方もあると思います。	考え方
34	場所	他市の施設を見て、周辺との連携が大切であるとする。交通の便、飲食の選択、待ち時間の有効活用など、周りとの連携がないと評価が下がるのではないかと。周辺の私企業との連携も考慮してほしい。	大切な考え方と認識して、周辺施設との連携は記述しています。(第1章第3節、第3章第1節1・2)	記載済(同意)
35	施設	施設へのアクセス、駐車場が大切。	実際の建設場所の決定に際しては、利用者が行きやすい場所であることは大切と考えています。また、駐車場に関しても同様の考え方を持っています。	考え方
36	施設	駐車場が必要であり、緑地をつぶすのはもったいない。環境面、CO2の削減や暑さ対策から屋上緑地にしてはどうか。イベントも駐車場を気にせず開催できる。	基本構想(案)P43「エコ機能」の箇所に「屋上緑地」を追記します。	追記
37	施設	駐車場を平面に加え天候に左右されず、障がい者や高齢者への配慮から地下、屋上駐車場にしてはどうか。	基本構想(案)P40「余裕ある駐車場の確保」の箇所に「また、体の不自由な方のために屋上駐車場、地下駐車場なども検討する必要があります。」を追記します。	追記
38	施設	駐車場への入庫がスムーズに。	基本構想(案)P40「余裕のある駐車場の確保」の中で、記載しています。	記載済(同意)

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
39	施設	ホール周辺に四季折々楽しめる樹木の植樹を市民にお願いしてみてもいいのでは。	基本構想(案)P36「市民の愛着を高めるための…」の箇所に「また、ホール周辺に市民による四季折々に楽しめる樹木の植樹を検討します。」を追記します。	追記
40	施設	前面の庭は2階の半円で、限られた敷地でイベントがしやすいように。1,2階が見える。野外イベントがしやすいように。	「併設機能・野外イベントスペース」の中に、機能としては同じ役割を果たす施設を考えています。	記載済(同意)
41	施設	花壇よりも管理しやすい草木がよい。	管理経費の問題ですが、できるだけ経費を削減するように工夫することは大切と考えています。	考え方
42	施設	親水公園…木と水に囲まれた市民が集い、安らぎを感じるイベントが開催できる公園はどうか。	基本構想(案)P37〈併設機能〉の箇所に「親水公園」を追記します。	追記
43	施設	会館の周りには自然遊歩道があれば。	基本構想(案)P37〈併設機能〉の箇所に「自然遊歩道…日常生活に溶け込む施設」を追記します。	追記
44	施設	文化意識の高い県であるはずなのに、きちんとした音楽ホールが無い事が残念である。パイプオルガンを備えたホールを望む。	現状では必要性を認めることは難しいと考えています。	考え方

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
45	施設	オーケストラが呼べる広いスペースのステージを。	実際に使い勝手のよい広さや機能を持った舞台が必要と考えます。	考え方
46	施設	気兼ねなく移動できるように座席の前後間隔を広くしてほしい。	大切なことと考え、基本構想(案)P41の表の中で、記述しています。	記載済 (同意)
47	施設	絆を感じるカップルシート(年配・若者・家族など)を導入してはどうか。	具体的な座席の配置などについては、詳細を決める段階で必要性を検討することが大切と考えます。	考え方
48	施設	四国一の音響を売りものにするなど、他との差別化が必要。	大切なことと考え、基本構想(案)P38では「高品質な設備が必要不可欠」、P41の表の中でも記述しています。	記載済 (同意)
49	施設	小ホールの200～250人の収容人数は少ないのでは。	500席のユーホールとの差別化の観点から、このような席数が適切と考えています。	考え方
50	施設	大ホール1000～1500人では大きすぎ、市内の現状から800～1000人程度の施設が一番使い道が多いのではないかと。	市民の利用が中心で、合併により人口規模が大きくなった市民の利用機会を考慮して、1500席を上限としました。しかしながら、極力無駄のない規模の観点から、1200席から1500席規模での詳細な検討が必要と考えています。なお、使い勝手の観点から、800席規模のイベントにも対応可能な柔軟なホール設計を考えます。	考え方

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
51	施設	各種展示会などでは、出展者本人とその家族に大よそ限られる。	色々な規模の施設が整うことで、多様な利用に対応できると考えています。	考え方
52	施設	国際会議ができる会議室は不要。	基本構想(案)P41の同時通訳システムは、具体例として記載しています。導入については慎重な議論が必要と考えていますが、会議室の形態は、できるだけ多用途に対応することが肝心と考えています。	考え方
53	施設	文化資料室を設置し、クラシックなどの視聴を。	基本構想(案)P38〈設備機能〉の箇所に「文化に関して学べる資料室機能がある」を追記します。	追記
54	施設	基本施設に会議、展示会、交流懇親会等が開催できる平面フロアで分割使用可能な多目的室でセミナーや展示会を。規模はスクール200人、シアター400人、立食350人	賑わいの創出のためにも必要な配慮と思い、基本構想(案)P41の会議室の中でこのような機能は見込んでいます。規模等に関しては、適切な規模とするために議論されるものと考えています。	記載済 (同意)
55	施設	映画館の設置を希望。教育的効果の高い映画や市内のイベントの録画の上映や公演の録画上映をしてはどうか。	基本構想(案)P41の小ホールで、映画鑑賞機能を記述しています。	記載済 (同意)
56	施設	後から追加できない施設として、幕間に利用できるカフェ(レストラン)、セルフスタンドの設置を。	基本構想(案)P44「運営の基本的な考え方」のなかで、カフェなどのについては、周辺の商業集積などを検討すると記載し提案しています。内部常設のレストラン運営の可否やセルフスタンドは周辺の商業施設との関係も踏まえ、更なる検討が必要と考えています。P39の「エントランスホールの有効活用」の箇所に、「また、幕間に利用できるセルフスタンドやカフェなどの併設も検討します。」を追加。	記載済 (同意)

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
57	施設	トイレは洋式でゆったりとしたスペースを。	基本構想(案)P42「バリアフリー機能」の箇所に「ゆったりとしたスペース」を追記します。	追記
58	施設	わかりやすい施設レイアウトを。	基本構想(案)P38「市民文化ホール内施設が全て同時に利用できる機能」に「誰でもわかりやすい施設レイアウトにより、」を追記。	追記
59	施設	木を使ったぬくもりのある内装に。過度なガラス張りにしない。	具体的な内容に関しては、適切な施設とするために議論されるものと考えます。	考え方
60	施設	スポーツ活性化のために体育施設の併用を。	体育館機能に関しては、運用に関する協議の中で検討されるものと考えますが、現段階では、市内には複数の体育館があるため、新たに整備する必要はないと考えています。	考え方
61	施設	ユーホールとの設備の差別化が必要。	ユーホールとの差別化に配慮する必要性を認め、基本構想(案)P41では、大小ホール機能を備えることにしています。	記載済 (同意)
62	施設	市民が足を運びやすい工夫が必要。	本策定委員会では、この市民文化ホールは子どもたちへの最高のプレゼントと認識しています。交流拠点のイメージとして、365日人が集まり賑わう施設を目標としています。そのための手段や工夫などに関しては、具体的な議論が必要と考えています。	記載済 (同意)

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
63	施設	子どもたちが気軽に文化に触れられる施設に	ご意見のように、子どもたちを含め、多くの人で賑わう施設を目指すという交流拠点のイメージを想定して、この基本構想(案)は作成しました。	記載済 (同意)
64	施設	毎日行ってみたくなるような施設に。	とにかく、多くの人で賑わう施設を目指すことが大切と考えています。	記載済 (同意)
65	施設	子どもたちのことを考えたまちづくりが一番望まれている時代に造られる、長く愛される文化ホールになることを願っている。	次代を担う子どもたちの人材育成にも寄与する施設となることを目指して、この基本構想(案)は作成しました。みんなから愛される施設になることが最終的な目標です。	記載済 (同意)
66	運営	ネーミングライツについて、1館丸ごとではなく、会議室等部屋ごとに実施してはどうか。またトイレも同様にし地場産業家庭紙のPRのため、企業のコンセプトでトイレトペーパーなどの備品も提供してもらえると多くの企業が参加できるのでは。	基本構想(案)P52に同じような考え方を記載しています。ただし、ネーミングライツには賛否両論があります。	記載済 (同意)
67	運営	運営も若者から高齢者まで視野広い考えを持ち寄ってできるよう組織作りが大切。	基本構想(案)P44「運営の基本的な考え方」の中で、住民参加型あるいは住民主体の組織を検討することを提案しています。	記載済 (同意)
68	運営	市主催の文化芸術関係には、1年間ボランティア会員を募って、活躍してもらおう。	基本構想(案)P46「運営についてのアイデア」の中で、ボランティア支援について記載しています。	記載済 (同意)

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
69	運営	市民が簡素に結婚式のできる設定にしてはどうか。地産地消の結婚式として、引き出物も地元企業が特産品を提供してはどうか。	結婚式用の特定施設設備を当初から設置するのではなく、多様な運営形態を協議する中で、希望があれば検討する可能性もあると考えます。	考え方
70	運営	ホールが大きくなると利用料金も高くなるのではないかと。市民主催の利用が難しくなるのでは。そのために1500人も入るホールは不必要ではないか。	基本構想(案)P44「運営の基本的な考え方」の中で、利用料金に関しては市民主体の利用を考えるという方針を提案しています。その上で、ホールの席数に関する1500席は上限として記載しています。	記載済(説明)
71	運営	カフェで霧の森大福と抹茶のセットを販売してはどうか。	基本構想(案)P44「運営の基本的な考え方」の中で記載していますが、カフェの整備も含め、近隣の商業施設との連携を検討する必要があると考えています。運営を検討する時点で有望な案と考えています。	記載済(同意)
72	財源	合併特例債活用といえども、建設により市の財政を圧迫するのではないかと。財政状況の見通しを分かりやすく示してほしい。	基本構想(案)P50の下に記載していますが、本策定委員会として、市民の負担を軽減するために合併特例債の活用は不可欠と考えています。また、建設に際しては、維持管理のしやすさや財政状況を勘案して、できるだけ経費を節減すべきと考えています。また、財政状況に関しては、本策定委員会は答える立場にありません。	記載済(説明)
73	財源	市民の負担が今以上に増加するのはどうか。	基本構想(案)P50の下に記載していますが、本策定委員会として、市民の負担を軽減するために合併特例債の活用は不可欠と考えています。また、建設に際しては、維持管理のしやすさや財政状況を勘案して、できるだけ経費を節減すべきと考えています。	記載済(説明)
74	その他	個別の意見への対応ができないとあるが、都合の悪い意見が削除されるのではないかと。	一般的なタウンコメントの手続きに則り対応しています。また、本策定委員会として、そのような考えは一切持っていません。なお、策定委員会自体も公開していますので、協議状況を傍聴することも可能でした。	考え方

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
75	その他	策定委員会の選定基準が明確ではない。	本策定委員会がお答えすることはできません。	考え方
76	その他	15名の策定委員会でまちづくり構想を結論付ける付託はあるのか？	本策定委員会は、市民文化ホール建設基本構想策定委員会設置内規に基づいて設置され、各界各層から15名の委員が委嘱されました。	考え方
77	その他	有名な設計者に設計を担当してもらおうと、ホールの知名度がアップするのではないか。	本策定委員会としては、この基本構想(案)を実現していただける最適な設計者が選定されることを望みます。	考え方
78	その他	市民参加の手法で設計者を選定することが大切。	提案している「建設委員会(仮称)」が設計者の選定に関与することで、市民参画がなされるものと考えています。	記載済 (同意)
79	その他	ホールを造るだけでなく、どのように利用していくのか、3～5年先の利用計画やその先の文化的目標なども記載してはどうか？	大切な提言と受け止めます。運営に関しては、目標とする賑わいを創出するために、提案の「運営委員会(仮称)」で議論を進めて欲しいと考えています。	記載済 (同意)
80	その他	行政のまちづくりの方向性は	行政としてのまちづくりの方向性は「総合計画における市民文化ホールの位置づけ」に抽出記載しています。	考え方



件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
81	その他	市が一つになれば垣根は無くなるのでしょうか？	そのようになることを期待しています。	考え方
82	その他	中途半端な投資は結局将来の子供達への負担となるのでは？	一つの日安は示していますが、人材育成や財政状況を勘案しながら、最適な規模の施設が建設されることが大切と考えています。財源としては、国からの手厚い支援が見込める合併特例債の活用が不可欠と考えています。	考え方
83	その他	コンクリートの幻想に「夢」と「過度な期待」を抱きすぎでは？	SWOT分析やプレイス・マーケティングの協議を経て、意見を取りまとめたので、過度な期待感で基本構想(案)を作成しているとは考えていません。	考え方
84	その他	建設場所について、誰が検討し市長に諮問するのか？	これからの流れについては、本策定委員会でお答えすることはできません。	考え方
85	その他	これからの設計条件の仕方を説明して欲しい	具体的な機能や規模など、これからの設計条件の仕方については、本策定委員会で説明することはできません。	考え方
86	その他	「建設場所に関しては所掌外とする」の「建設現場に関して」とは何を意味するものなのか？	文字通り、「市民文化ホールの建設場所」を意味するものと理解しています。	考え方

件数	項目	意見の趣旨	意見に関する考え方	備考
87	その他	そして続いて「所掌外とする」とは？	「策定委員会が関与しない」と理解しています。	考え方
88	その他	用地候補地の選定・取得と基本・実施設計が1ヶ月の誤差で進行するとは、候補地の選定前から設計に着手が可能という事なのでしょうか？	実際の事務処理に関しては、事業の主体者の市が対応することになると理解しています。観念として、このようなスケジュールを記載しています。	考え方
89	その他	夢を抱くのではなく、田舎は田舎らしさを武器にすることが必要。	いたずらに都市化、近代化を望むのではなく、その土地の実態や個性を尊重すべきという考え方があることは理解できます。SWOT分析を踏まえ、四国中央市の強み弱みを検討した上で、四国の交流拠点を目指すというまちづくりを目指すべきと考えています。	考え方
90	その他	基本構想策定委員とは、市の活性化に対する概念・価値観の違いを感じた	市の活性化に対して色々な考え方があることは理解していますが、客観的な手法としてのSWOT分析やプレイス・マーケティングの協議を経て、この基本構想(案)は作成しました。	考え方